

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月15日

## 【評価実施概要】

|       |                                       |       |           |
|-------|---------------------------------------|-------|-----------|
| 事業所番号 | 0174100990                            |       |           |
| 法人名   | 株式会社 ピッチ&パッチ                          |       |           |
| 事業所名  | グループホーム よいしょ!春採                       |       |           |
| 所在地   | 北海道釧路市春採1丁目14番6号<br>(電話) 0154-64-6080 |       |           |
| 評価機関名 | タンジェント株式会社                            |       |           |
| 所在地   | 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内        |       |           |
| 訪問調査日 | 平成21年3月26日                            | 評価確定日 | 平成21年5月1日 |

## 【情報提供票より】(平成21年3月18日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |               |        |                         |
|-------|---------------|--------|-------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)18年4月1日 |        |                         |
| ユニット数 | 2ユニット         | 利用定員数計 | 18人                     |
| 職員数   | 18人           | 常勤     | 16人, 非常勤 2人, 常勤換算 15.4人 |

### (2) 建物概要

|      |        |        |
|------|--------|--------|
| 建物構造 | 木造2階建て | 造り     |
|      | 2階建ての  | 1~2階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                 |          |            |                |      |
|-----------------|----------|------------|----------------|------|
| 家賃(平均月額)        | 37,000円  | その他の経費(月額) | 26,000~31,000円 |      |
| 敷金              | 有(円)     | 無          |                |      |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円)     | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無          |      |
| 食材料費            | 朝食       | 350円       | 昼食             | 300円 |
|                 | 夕食       | 350円       | おやつ            | 100円 |
|                 | または1日当たり |            | 1,100円         |      |

### (4) 利用者の概要(3月18日現在)

|       |     |      |      |     |     |     |
|-------|-----|------|------|-----|-----|-----|
| 利用者人数 | 17名 | 男性   | 4名   | 女性  | 13名 |     |
| 要介護1  | 3名  | 要介護2 | 2名   |     |     |     |
| 要介護3  | 9名  | 要介護4 | 3名   |     |     |     |
| 要介護5  |     |      | 要支援2 |     |     |     |
| 年齢    | 平均  | 81歳  | 最低   | 69歳 | 最高  | 92歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 協力医療機関名 | 柴田内科胃腸科医院・清水桜が丘病院・望洋歯科クリニック |
|---------|-----------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

春採湖を眼下に一望にできる眺望の良い場所に位置し、運営者、管理者、職員は福祉に熱意を持ち、「笑顔でサポート」をホーム理念として、職員と一緒に買い物や調理の下ごしらえ、配膳の準備、食器洗い等、利用者が中心になって行えるように支援しています。喜びと驚きを提供出来るように心掛け、職員と利用者全員が十勝川温泉への一泊旅行や車いす用レーンがあるボウリング場でのレクリエーション、ホーム内での「居酒屋よいしょ!」等、利用者を飽きさせない取り組みがなされています。食事前の嚥下体操や「気づき」の健康法フェルデンクライス・メソッド等の機能訓練を取り入れ健康管理にも努めています。笑顔の絶えない「楽しい我が家」を目標に日々、取り組んでいます。

## 【重点項目への取組状況】

|      |                                                                                                                                                                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)<br>前回評価では、運営推進会議の定期的な開催が挙げられていましたが、おおむね二カ月に一度開催されており、メンバーの方々からホームの取り組みへの評価や意見を頂き、町内会との連携や協力関係が深まるような取り組みがなされています。                                                      |
|      | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>前回の外部評価での評価結果を受けて、職員は共有認識のもと、積極的に改善に取り組んでいます。又、再度の自己評価を行い課題を再確認して、職員全員で内容を把握し、共有して緊急を要する事項は速やかに話し合い改善に向けて取り組んでいます。                                                         |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)<br>運営推進会議は、おおむね二カ月に一度開催しています。議題については行事の案内と報告<br>ホームで取り組んでいるフェルデンクライス(気づきの健康法)の紹介<br>利用者・職員との一泊旅行の報告と反省<br>ボランティアについての話<br>包括支援センター職員や民生委員からの話                    |
|      | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)<br>定期的に「よいしょ!だより」を発行し行事や日常の写真を掲載して伝えており、毎月担当者から手紙や金銭出納帳のコピーを送付しています。相談事や体調の変化があった場合は事前事後に電話で家族に報告しています。意見箱を玄関に設置し、家族からご意見を言いやすい雰囲気作りに努めており、訪問時には相談室に於いて要望・意見を伺っています。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>地域の方々には、ホームページやホーム便り等の配布で広報活動に取り組み、日常の散歩や外出時に挨拶を交したり、地域の清掃活動に参加して交流を深めています。又、盆踊り大会や保育園行事に参加し、ホームの行事のバーベキュー大会やクリスマス会にご招待しながら地域交流に努めています。                                       |

## 2. 評価結果（詳細）

| 外部評価                         | 自己評価 | 項目                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                       | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>            |      |                                                                          |                                                                                                                                       |                     |                                  |
| <b>1. 理念と共有</b>              |      |                                                                          |                                                                                                                                       |                     |                                  |
| 1                            | 1    | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている    | 「笑顔でサポート」をホームの理念として、笑顔の絶えない「楽しい我が家」になるように日々、取り組んでいる。又、地域との関係を大切にしながら安心・安全に過ごせるようもう一つの我が家として笑顔で暮らし続けられる事を目標に理念を作り上げている。                |                     |                                  |
| 2                            | 2    | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                       | 理念はホーム内の見易い場所に掲示しており、管理者や各ユニットの責任者は会議の中で、理念に添ったケアが実践されているかを全員で振り返り、職員は、理念を常に意識して実践に向けて日々のケアに取り組んでいる。                                  |                     |                                  |
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |                                                                          |                                                                                                                                       |                     |                                  |
| 3                            | 5    | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の方々には、ホームページやホーム便り等の配布で広報活動に取り組み、日常の散歩や外出時に挨拶を交したり、地域の清掃活動に参加して交流を深めている。又、盆踊り大会や保育園行事に参加し、ホームの行事のバーベキュー大会やクリスマス会にご招待しながら地域交流に努めている。 |                     |                                  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |                                                                          |                                                                                                                                       |                     |                                  |
| 4                            | 7    | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる   | 前回の外部評価での評価結果を受けて、職員は共有認識のもと、積極的に改善に取り組んでいる。又、再度の自己評価を行い課題を再確認して、職員全員で内容を把握し共有して、緊急を要する事項は速やかに話し合い改善に向けて取り組んでいる。                      |                     |                                  |

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                        | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)              |
|------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------|
| 5                      | 8    | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている              | 運営推進会議は利用者のご家族、町内会役員、民生委員、地域包括支援センター職員とグループホームの代表、管理者などで構成され、緊急時の災害等における町内会との連携やホームの取り組みについての評価や提案を頂いている。              |                     |                                               |
| 6                      | 9    | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                                | 運営者・管理者は、市の担当者と必要に応じて連絡を取り、市主催のセミナーや勉強会に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。                                                         |                     |                                               |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |                                                                                                     |                                                                                                                        |                     |                                               |
| 7                      | 14   | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 家族の来訪時の報告の他、定期的に「よいしょ！だより」を発行し行事や暮らしぶりの写真を掲載して伝えている。また毎月、担当者から手紙や金銭出納帳のコピーを送付している。相談事や体調の変化があった場合は事前事後に電話で家族に報告している。   |                     | ホームだよりの題字は利用者の直筆になっており、家族からも本人の状態が把握され喜ばれている。 |
| 8                      | 15   | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                 | 意見箱を玄関に設置し、家族からご意見を言いやすい雰囲気作りに努めており、訪問時には相談室に於いて要望・意見を伺っている。重要事項説明書には内部、外部の相談窓口を明示している。運営推進会議に出席して頂き、意見や要望を運営に反映させている。 |                     |                                               |
| 9                      | 18   | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の離職の際は、事前に新規採用者を配置する等、利用者に対するサービスの低下を招かないように配慮している。又、ユニット間の異動は、マンネリ防止の為に必要なことと考え実施しているが、同様の考えで業務に支障がないよう慎重に対応している。   |                     |                                               |

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目                                                                                                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                     | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |                                                                                                       |                                                                                                                                     |                     |                                  |
| 10                               | 19   | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                | 採用の時にはオリエンテーションでの同行介護研修を行っており、運営者は外部の研修会や勉強会に積極的な参加を奨励し、研修報告会も開催している。職員のスキルアップのための資格取得を奨励し、資格取得のための有給休暇や資格に応じて手当が支払われる等、協力的に支援している。 |                     |                                  |
| 11                               | 20   | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている       | 釧路市東部南地域の3つのグループホームと共同で「認知症高齢者100万人キャラバン」を開催したり、事例発表等の交流をしている。今後は小規模多機能型居宅介護や障害者施設との交流を通して共同でのスキルアップが出来るような取り組みを検討している。             |                     |                                  |
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |      |                                                                                                       |                                                                                                                                     |                     |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |                                                                                                       |                                                                                                                                     |                     |                                  |
| 12                               | 26   | 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用前は必ず面談に行き、来訪される方には、ゆっくりわかりやすい説明をしている。必要であれば何度でも見学に来ていただき、職員や他の利用者、場の雰囲気に馴染んで貰えるようにしている。又、利用後は歓迎会を開くなどして、徐々に馴染んで貰えるよう工夫している。       |                     |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |                                                                                                       |                                                                                                                                     |                     |                                  |
| 13                               | 27   | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 本人の生活歴や習慣を踏まえ、一緒に洗濯物をたたんだり、お料理の味見をお願いし助言を貰っている。カスピ海ヨーグルト・甘酒・塩辛等の作り方を教わったり、職員が使用する事務用品の片付けを手伝って貰うなど、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。           |                     |                                  |

| 外部評価                                  | 自己評価 | 項目                                                                                                                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                                                    | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
| <b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>     |      |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                    |                     |                                  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |      |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                    |                     |                                  |
| 14                                    | 33   | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>                                                          | <p>本人の意向の把握に努め、本人の思いを否定しないように支援している。ホームに就職していると思われる方と一緒に電卓を叩き、料理が好きな方には積極的に調理に加わって貰えるようにして支援している。</p>                                                              |                     |                                  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                    |                     |                                  |
| 15                                    | 36   | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>     | <p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、各担当者を中心に管理者・スタッフ・看護師からの情報を基に家族や本人の希望や意向を確認して作成している。家族からの情報や日常の職員との会話や生活の様子からの情報を大切に、詳細なアセスメントを職員全員で行うと共にそれぞれの意見やアイデアを反映した具体的な介護計画を作成している。</p> |                     |                                  |
| 16                                    | 37   | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>3ヶ月ごとに介護計画の見直しを行っており、利用者に入院など心身状況・環境に大きな変化があった場合は随時、スタッフ会議や家族と相談して、適切な計画を作り見直しを行っている。</p>                                                                       |                     |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                    |                     |                                  |
| 17                                    | 39   | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>                                                       | <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、受診の送迎や近くにある系列のケアハウスへカラオケに行ったり、一泊の旅行や本人の希望に応じて柔軟に支援をしており、利用者さんのお葬式には全員で正装して行くなどしている。</p>                                                     |                     |                                  |

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                              | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |                                                                                            |                                                                                                                                              |                     |                                  |
| 18                                 | 43   | かかりつけ医の受診支援<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。                      | 利用者、家族の希望を把握し、入居前の医療機関に受診出来るように支援している。又、体調が急変した場合はホームの看護職員と相談の上、医療連携している医療機関で診断して貰っている。歯科医や内科医の医師にも往診して貰い利用者の健康管理に努めている。                     |                     |                                  |
| 19                                 | 47   | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療連携加算を取り「重度化した場合の対応指針」が明確化され、家族と本人から「重度化した場合の同意書」を交わしている。ターミナルケアマニュアルを作成し、職員全員に周知徹底しており、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。 |                     |                                  |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>     |      |                                                                                            |                                                                                                                                              |                     |                                  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |                                                                                            |                                                                                                                                              |                     |                                  |
| <b>(1) 一人ひとりの尊重</b>                |      |                                                                                            |                                                                                                                                              |                     |                                  |
| 20                                 | 50   | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 利用者に対し、常に尊敬の念を持って、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けや対応をしており、生活記録の記載にも十分にプライバシーの配慮がされている。又、記録の取り扱いにも、十分に注意している。                                        |                     |                                  |
| 21                                 | 52   | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | ホームは利用者の家と考え、寝る時間、起きる時間、食事の時間、外出、入浴時間等、一人ひとりの希望や体調、ペースを大切に、支援しており、その日をどのように過ごしたいか、希望に添って本人本位の生活が送れるように支援している。                                |                     |                                  |

| 外部評価                          | 自己評価 | 項目                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                       | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                                                              |
|-------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |                                                                                |                                                                                                                                       |                     |                                                                                                               |
| 22                            | 54   | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 一人ひとりの体調に合わせて調理方法を工夫しており、利用者から好みや希望を聞き、献立に反映させている。一緒に買い物や調理の下ごしらえ、配膳の準備、食器洗い等利用者が中心になって行えるように支援している。又、出前や外食の機会を作り、食事が楽しみになるように支援している。 |                     |                                                                                                               |
| 23                            | 57   | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 曜日や回数・時間帯を職員の都合で決めてしまわず、利用者の希望や習慣を最優先に考え利用者が入浴の希望を言いやすい自由な雰囲気を作るように心掛けている。又、時には、近くの銭湯に行くなど入浴が楽しみになるように支援している。                         |                     |                                                                                                               |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |                                                                                |                                                                                                                                       |                     |                                                                                                               |
| 24                            | 59   | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人りひとりの生活歴や習慣、趣味を踏まえ、おしゃれが趣味の利用者には三つ揃えのスーツを新調したり、小鳥や亀の餌やり、俳句、布巾縫い、毎日のカスピ海ヨーグルトづくりや食事の準備、片付け、合唱等一人ひとりの楽しみ、気晴らしを支援している。                 |                     |                                                                                                               |
| 25                            | 61   | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 毎日の食材の買い物や春採湖での散歩等、日常的に外出の機会を作り、計画的に別保公園・昆布森・湿原展望台・恋問館等のドライブの他、その日の気分や希望によってマンツーマンで海や公園へ外出したりと、柔軟に戸外に出かけられるように支援している。                 |                     | 欲しい物や趣味(バックや帽子)の話題をする事で本人の外出意欲を高めるように取り組んでいる。又、職員と利用者全員で十勝川温泉への一泊旅行や車いす専用レーンがあるボーリング場でのレクリエーション等、積極的に取り組んでいる。 |
| (4) 安心と安全を支える支援               |      |                                                                                |                                                                                                                                       |                     |                                                                                                               |
| 26                            | 66   | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 鍵をかけることの弊害を十分理解し、自由に出かけられるよう取り組んでおり、利用者が外出する時は、職員が安全確認を常にしながらさりげない見守りができるよう配慮されている。                                                   |                     |                                                                                                               |

| 外部評価                       | 自己評価 | 項目                                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                                                               | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------|
| 27                         | 71   | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 防火管理者が配置され、避難訓練は年2回行われており、避難訓練後には課題や問題点を話し合い不測の事態に備えている。又、運営推進会議等の席上で地域との災害時の連携について話し合われており、地域の方々にも協力を得られるよう働きかけている。                                                          |                     |                                  |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |                                                                                                          |                                                                                                                                                                               |                     |                                  |
| 28                         | 77   | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 栄養士の管理の下、利用者一人ひとりの身体状況・嗜好に合わせ食事を提供しており、摂取量、水分確保の記録もなされている。又、一食ごとのカロリーが計算されており、利用者の嚥下状況や食事のスピード、入れ歯の性能等を踏まえ最適な支援がなされている。                                                       |                     |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |      |                                                                                                          |                                                                                                                                                                               |                     |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |      |                                                                                                          |                                                                                                                                                                               |                     |                                  |
| 29                         | 81   | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 春採湖が一望できる環境で、騒音やネオン等の不快な音・光は無く、遊歩道を散歩する方達の姿が見られ、玄関は四季を感じる飾りを施し、廊下・リビング・トイレの中に絵画を飾り、作品展にも出品された利用者さんの大作の貼り絵、行事や外出時の写真などが飾られている。利用者が、思い思いに過ごせるようにイスやテーブルが配置され、居心地よく過ごせる環境になっている。 |                     |                                  |
| 30                         | 83   | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 家族や本人にレイアウトは自由にして貰い、使い慣れた家具や家族の写真が飾られていたり、それぞれの方の信仰に基づいたものや大切な物品などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。                                                                                      |                     |                                  |

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。